



地域とともに迎えたい「150周年」

校長 間嶋 哲

近代日本の学校制度を定めた「学制」が公布された5か月後、明治6年（1873年）1月14日に、我が校は産声を上げました。来年1月14日が、150歳の誕生日となります。つまり今年度は、記念すべき150周年なのです。様々なイベントが予定されていますが、その第一弾が、5月21日（土）に行った運動会でした。スローガンや種目、（第一幼稚園が作った）センターポールにはためく旗も、趣向を凝らしたものになっていました。

特筆すべきは、やはり「SLばんえつ物語」号の汽笛でした。昨年度は天候不順で土日開催ができなかったため、週末限定運航のSLを見ることができなかったのです。2年ぶりということで、子どもたちの期待感も、徐々に高まっていました。幼稚園児の徒競走が終わった10時過ぎに、いよいよ黒い煙とともにSLが近づいてきました。そして、汽笛による三三七拍子の応援をしていただきました。あらためて感動を覚えました。この様子は、NSTのテレビ番組でも取り上げられました（上のQRコード参照）。



運動会の開会式でも子どもたちに話しましたが、あのSLは、昭和44年10月に当校に安置され、平成10年3月に旅立っていきました。約30年間に渡り、当校で、次の活躍の場をじっと待っていた、まさに大先輩でもあるのです。今も大活躍しているSLから最高のエールをもらうことができる新津第一小学校の子どもたちは、実に幸せです。

ところで今年度から、新潟市立の小中学校は、コミュニティ・スクールとなりました。コミュニティ・スクールとは、保護者や地域の皆さんとともに知恵を出し合い、それを学校運営に反映させる学校づくりをする仕組みです。具体的には、一中との合同会も含め、1年に4回の学校運営協議会が開催されます。すでに内諾をいただいた13名の委員の皆さんには、学校運営の基本方針を承認していただいたうえで、広い視野から学校運営に関する率直な意見をいただきたいと思います。もちろん委員でなかったとしても、日常的に気がついたことがあれば、どうぞ気軽に学校までお知らせください。双方向のコミュニケーションを豊かにしていくことで、目の前の子どもが健やかに育つのです。

6月20日には、全校児童と全教職員で人文字をつくり、航空写真を撮影する予定です。また、プール水泳も本格的に始まります。コロナ禍も少しずつ終息しつつあります。

今年度も当校は、『知性と笑顔あふれる新津第一小学校』であり続け、150年の節目を地域とともに迎えながら、SLと同様に力強く走り続けます。どうぞ宜しくお願いいたします。